

数学科学習指導略案

◇本時の目標

星形五角形の図形の性質を考え、多角形の内角や外角の和を用いて星形多角形の内角の和を求めることができる。

◇本時の展開

授 業 の 流 れ	活 用 場 面 (タブレット)
1 本時の目標を知る 「図形の性質を用いて、星形多角形の内角の和を求めよう」	
2 星形多角形について知り、星形五角形の 内角の和の求め方の別解を考える。	MetaMoJiに配布した星形五角形のワークシートにタッチペンを使って書き込み、様々な考え方を気軽に実験できるようにする。
3 星形五角形の内角の和の求め方を班で 共有し、発表する。	MetaMoJiをグループ学習モードに切り替え、考え方を班で共有する。電子黒板に投影し、発表させる。
4 星形 n 角形の内角の和の表し方について 推測し、考え方を発表する。	MetaMoJiに求め方と考え方をまとめさせる。モニターモードで電子黒板に投影し、全体に共有させる。
5 本時のまとめをする。	

◇効果・工夫点

- MetaMoJiでワークシートを配布することで、生徒たちが主体的に様々な考えを試行錯誤することができる。手書きで書き込んだり、色をつけて視覚的に表したりして紙媒体にくらべて失敗を恐れず取り組んでいる。
- 班活動で考えを共有する際には、言葉だけでなく図形に示しながら説明したり疑問点を具体的に質問したりすることが増えてきた。
- 発表前にMetaMoJiの○×機能を用いて班の状況を示させることで、手を挙げてまでは発表しにくい生徒にとっては発表する機会が増えた。
- 演習の時間等を通してMetaMoJiを用いた発表経験を積むことで、自主的にポインター機能（指す）を使うなどプレゼンテーション力も自然と向上している。